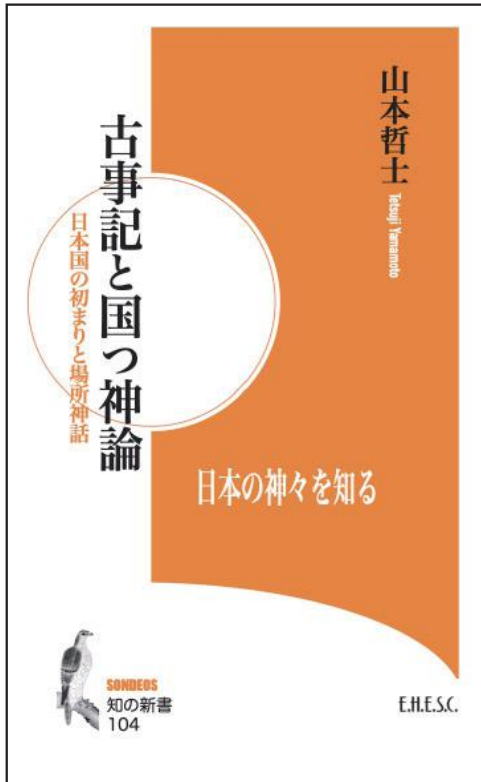


山本哲士 『古事記と国つ神論』 日本国の初まりと場所神話

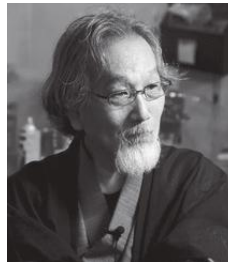
古事記の神話は日本書紀とは全く異なる。日本には、異なる二つの設計原理がある。国家の初まりとなる神話構成を幻想理論から明証に解説する。古事記研究者たちの限界を超えた画期的な読み。古事記には、兎・蛇・蜂などと虫獣化されたたくさんの国つ神たちが場所ごとに登場する神話であるが、日本設計の幻想原理となつて実作用している。小国であった高天原を天へ配置し、海照神を天照大神に転じて坐らせ、スサノヲは天地の間を失敗しながら行き来させ、天孫系の敗北を「天孫降臨」と仰々しく構成する。見事な神話創成を成している。天つ神は元々は国つ神たちであった。

天つ神神話の幻想生成と国つ神の存在から、既存の天皇制批判の限界を転換。
単行本売り切れの好評書の新書化。

- 原理解 古事記解説の本質視座
- 共同幻想論 吉本隆明
- タマ論 折口信夫
- 神人論 坪井洋文
- カルプリ論 アウステイン
- 国つ神の場所
- 天照論 天の国の大神
- ヒメ論 婚姻の意味
- 初発論
- イザナキ/イザナミ論 神を産む神
- ムスヒ神論 初発の独神
- 黄泉国論 生者の場所
- 国つ神論 場所神話
- 変容篇
- 土蜘蛛と鬼まつろわぬ民
- 場所の(クニ)プリ論へ



SONDEOS 104 832頁の大著
定価 3850円
本体 3500円 + 10%税
C1210 ISBN 978-4-910131-33-7



山本 哲士 (やまもと てつじ)

1948年生まれ。東京都立大学大学院人文科学研究科、博士課程修了。教育学博士。政治社会学、ホスピタリティ環境設計学。元信州大学教授、元東京芸術大学客員教授。「一般財団法人・日本国際高等学術会議」を設立、理事長。世界の第一線の学者たちと交通し、新たな学問体系を哲学地盤から構築。著書・編著は50書以上、編集雑誌は150冊以上に及ぶ。『文化資本論』(新曜社)、『新版・ホスピタリティ原論』、『哲学の政治 政治の哲学』(文化科学高等研究院出版局)、『ピエール・ブルデューの世界』、『吉本隆明の思想』(三交社)、『ミシェル・フーコーの思考体系』、『イバン・イリイチ』(EHESC出版局)で思想家4部作を完成。国家論5部作、『吉本隆明と共同幻想論』(晶文社)、『フーコー国家論』、『ブルデュー国家論』、『国家と再認・誤認する私の日常』、『私を再生産する共同幻想国家・国家資本』(ともにEHESC出版局)を完成。『哲学する日本』、『<もの>の日本心性』、『国つ神論』の日本論から、哲学/文化論を創出し、『述語制の日本語と日本思想』(EHESC出版局)の言語論を展開中。近著『聖諦の月あかり』で情緒の初源を語った。

注文はJ-RCく fax.03-3294-2177

文化科学高等研究院出版局 tel.03-3580-7784 fax.03-5730-6084

古事記と国つ神論

山本哲士著

定価 3850円

新書

ISBN 978-4-910131-33-7 C1210 ¥3500

書店名

部数

冊